

令和4年度 奈良県立五條高等学校 学校評価総括表（計画）

【高等学校用】

年度	令和4年度（中期計画1年目）
本校の使命（スクール・ミッション）	校訓である「質実」「剛健」「礼節」を身に付けた、地域・社会に貢献する自立した人材の育成
年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力の充実・伸長を図る。－探究活動の積極的な導入、家庭学習の充実、計画的な学習、補充講座の充実、言語活動の充実、授業研究の推進、学ぶ意欲と想像力を高める教育の実践 等</li> <li>○ 規範意識等の向上を目指す。－欠席・遅刻を減らす取組、挨拶・マナーの向上、頭髪・服装・言動・規範意識などの点検 等</li> <li>○ コミュニティ・スクールの取組を通して保護者や地域の要望や意見を学校運営に反映させるとともに、地域と連携し、地域と共にある学校づくりを推進する。地域貢献できる外部人材の活用にも努める。－公開講座・出張授業の実施、近隣の学校・園との連携、外部人材の活用 等</li> <li>○ ニーズに応じた特色ある教育課程を研究する。－「まなびの森コース」の教育内容の充実、進学に向けた基礎学力の充実、大学等との連携によるキャリア教育の充実、情報機器等の活用に関する研究 等</li> <li>○ 奈良 T I M E の主旨を踏まえ、奈良の歴史を学ばせ、郷土愛を育む。－総合的な探究の時間等の活用、地域でのフィールド学習、奈良に関する講演 等</li> <li>○ 自分に自信と誇りをもてる指導を行う。－検定等の合格率の向上、校歌の指導、各種コンクール等への挑戦、言語活動の充実 等</li> <li>○ 温もりのあるコミュニケーション力を養い、生徒を支援する教育の充実を図る。－教育相談や特別支援が必要な生徒・不登校生徒等への指導体制の充実、支え合う仲間づくり 等</li> <li>○ 体力向上を目指す取組を行う。－部活動の活性化、自己記録の更新、効果的な練習法の研究、外部指導者の活用 等</li> <li>○ 生徒の教育活動や校舎・人工芝などの施設・設備等についての五條高校の魅力を積極的に広報し、良き伝統とともに新しい取組にも果敢に挑戦している姿勢をアピールする。－中学校訪問、オープンスクールの充実、HPや報道資料の積極的な更新や発信 等</li> <li>○ 防災教育の見直しや美化活動の充実を図る。－H R などにおいて定期的・計画的に防災教育を行い、火災だけでなく、地震や豪雨等の非常変災に対応できる力を育成する。</li> <li>○ 危機等発生時対処要領（いわゆる「危機管理マニュアル」）を適宜見直しで更新する。－「五條高等学校危機管理マニュアル」の点検・見直しを継続的にを行い、教職員の意識高揚を図る。また、今般の新型コロナウイルス感染防止等も含めた緊急情報については、速やかに生徒・保護者に発信できるよう、緊急メールシステム等の活用を一層図る。</li> </ul>

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本校の使命や教育方針を理解している生徒</li> <li>2 より発展的な学びを目指し、様々な学びに積極的に取り組む意欲のある生徒</li> <li>3 資格取得に向けて意欲的に取り組む生徒</li> <li>4 主体的に考えて行動でき、地域貢献への意欲のある生徒</li> </ol>
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、「確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身（知・徳・体）を備えた生徒」の育成を中核に据え、「夢や希望の実現に向け、様々な課題に積極的に挑戦する生徒」「自他を尊び、地域・社会に貢献する自立した生徒」の育成を目指し、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒一人一人の自己実現に繋がるよう、基礎学力の定着に重視しながら興味・関心に応じた科目選択ができるカリキュラムを編成します。</li> <li>2 学科やコース、類型の枠を越えて、思考力・判断力・表現力の育成を重視した学校設定科目を開設し、主体的、探究的に学び考える力を培います。</li> <li>3 教育活動全般を通じて、温もりのあるコミュニケーション能力を育成します。</li> <li>4 コミュニティ・スクールの趣旨を踏まえ、地域の小・中学校等との連携やボランティア活動などを積極的に図り、地域や社会に貢献する精神を涵養します。</li> <li>5 海外姉妹校との連携等により、自己理解と異文化理解等を充実させ、グローバルな視点で物事を判断する力を育成します。</li> <li>6 生徒一人一人の興味・関心に応じた講座を開講し、資格取得などを旨とする「本人のための教育」を推進します。</li> </ol>
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 豊かな人間性を基盤に、社会に貢献しようとする力。</li> <li>2 自他敬愛の精神とともに、自らの地域の歴史や文化に対する強い誇りと愛着をもっている。</li> <li>3 コミュニケーション力を大切にし、仲間と協働しながら主体的に課題を解決できる。</li> <li>4 卒業後も文武両道に努め、自ら学び続けることができる。</li> </ol>

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標（A）	計画期間における具体的目標（B）	令和4年度末の目標値等（C）	令和4年度末の状況（D）	自己評価（E）	学校関係者評価（F）
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはくむ	望ましい生活習慣の確立	出席率98.5%以上。	年間欠席総数前年比減10%以上			
	人権及び命に関する取組を深め、自他を大切にする学習の推進	人権や命にかかわる学習を各学年で年間9時間以上。人権問題について考える機会が多いを95%以上。	人権や命にかかわる学習を各学年で年間7時間以上。人権問題について考える機会が多いを前年並み（94%）に。			
	望ましい食習慣の確立	朝食摂取率80%以上。	朝食摂取率の調査と啓発を各学期1回			
	課外活動の充実	部活動加入率（体育系・文化系）80%以上。	部活動加入率（体育系・文化系）74%			
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の授業満足度の平均80%以上。	生徒の授業満足度の平均75%以上。			
	学習習慣の確立	毎日家庭学習を行う者の割合を80%以上。	毎日家庭学習を行う者の割合を70%以上。			
	ICTを活用した授業の推進	ICT機器の利用を全授業の80%以上。	ICT機器の利用を全授業の60%以上			
3. 働く意欲と働く力をはくむ	インターンシップの充実	インターンシップ（就職希望者）、アカデミック・インターンシップ（進学希望者）への参加率100%。	インターンシップ（就職希望者）、アカデミック・インターンシップ（進学希望者）への参加を前年度以上に			
	地元産業界等との連携	「出前講義」「職業ガイダンス」等を年間5回以上。	「出前講義」「職業ガイダンス」等を年間3回以上。			
	キャリア教育の推進	「夢プラン」による自己点検を教員が確認し、アドバイスする（毎週）。 「進路カルテ」「ポートフォリオ」による到達度チェック等を毎学期1回以上。	「夢プラン」による自己点検を教員が確認（月1回）。 「進路カルテ」「ポートフォリオ」による到達度チェック等を毎学期最低1回。			
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールとしての地域貢献	地域の各小・中学校との連携各校3回（共同開催含む）以上。	地域の小・中学校との連携各校2回			
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」における現地研修等を2回以上。	現地研修等を最低1回			
	グローバルマインドの育成	姉妹校とのオンラインによる交流を年間3回以上（コロナ禍が終息すれば短期留学等も再開）。	姉妹校とのオンラインによる交流を年間2回以上			
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進（卒業までのいじめ全件追跡）。	今年度のいじめ全件追跡			
	個別の教育支援計画や個別の指導計画の実効性ある活用	対象となる生徒の状況を確認（毎学期、全件）。	対象生徒の状況確認（毎学期）			

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--